

平成 24 年 7 月吉日

東京九学会
会長 連川悠一様

創作劇「青柳」東京公演実行委員会
実行委員長 副島隆



創作劇「青柳」東京公演チケット販売ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

突然お手紙を差し上げ失礼いたします。私は副島隆と申します（高 13）。

先日「東九通信」をいただいた折、その掲載誌を拝見してご連絡を申し上げております。

実は、私が熊本アイランド協会の会長や熊本スピリッツ発信協議会の実行委員長をしておりますので、その関係で、アイランド出身の父を持つ小泉八雲の作品を題材に、この度、8月5日に新宿区四谷ホールで、「青柳」東京公演を開催することになりました。内容は熊本公演の折のパンフレットをご覧ください。

小泉八雲が、五高（第五高等学校、現熊本大学）で行った講演「極東の将来」にある、簡易・素朴・善良を旨とする「熊本スピリッツ」を、いま改めて発信する事業の一環です。その趣旨に対し、熊本県、アイランド大使館等をはじめとする各種団体、企業より後援をいただき、八雲終焉の地「新宿」にて、区のご好意を得て開催の運びとなったものです。

チケットの販売を行っておりますが、苦戦しております。お手数をおかけいたしますが、同窓の方々に広報していただき、どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。インターネットでの申し込みは、青柳東京公演か熊本アイランド協会と検索していただければ見つかります。FAX の申し込み用紙も同封いたします。チラシは 10 枚同封いたしました。追加はご連絡いただきますとすぐお送りします。

今後ともよろしく願い申し上げます。

敬具

8月5日：シンポジウム・平川祐弘講演・創作劇「青柳」公演

場所：東京都新宿区 四谷区民ホール （東京都新宿区内藤町 87）

10：00 シンポジウム 参加費無料・自由にご参加ください。

研究発表と討論 「熊本・富山発 新発見による小泉八雲新考」

12：30 昼の部受付開始

13：00 昼の部

13：10 平川祐弘講演（約50分）

14：00 創作劇「青柳」公演（約1時間30分）

15：30 終了予定

17：30 夜の部受付開始

18：00 夜の部

18：00 平川祐弘講演（約50分）

19：00 創作劇「青柳」公演（約1時間30分）

20：30 終了予定

問合せ：FAX.096-372-1857 TEL096-366-5151

創作劇「青柳」東京公演実行委員会宛て

創作劇「青柳」チケット申込用紙

チケットのお申し込みの際は、この用紙をご利用ください。
(下記のホームページからも注文できます)

期日：2012年8月5日(日)

会場：東京都新宿区 四谷区民ホール

昼の部 午後1時～ 夜の部 午後6時～

入場券 6,000円(全席自由席)

■チケット申し込み枚数

昼の部 () 枚

夜の部 () 枚

お名前

ご住所

ご連絡先

チケットのお支払いについて

1) チケットの代金のお支払いは、専用の振込用紙をご利用ください。

2) 口座振り込みをされる場合

【ゆうちょ銀行からのお振替】 ※電信振替(ATM)からの手数料は無料です。

17160-2158081

創作劇「青柳」東京公演実行委員会

【ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込】 ※お振込手数料はご負担ください。

ゆうちょ銀行 店名 七一八(ナナイチハチ) 店番 718

普通預金 0215808

熊本市中央区白山1-6-31 株式会社お菓子の香梅内

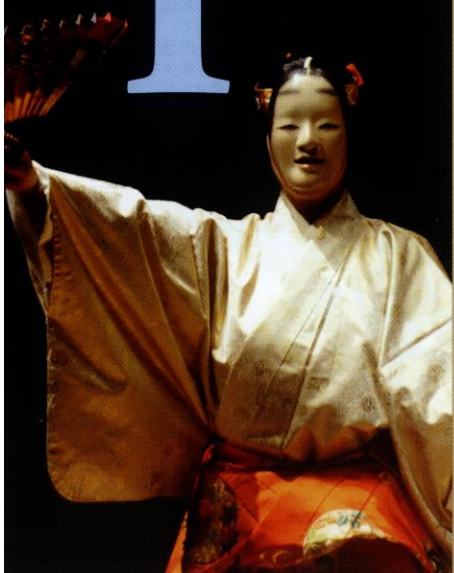
創作劇「青柳」東京公演実行委員会事務局

TEL: 096-366-5151/FAX: 096-372-1857

URL <http://www.kumamoto-ireland.org>

A O Y A G I

小泉八雲「怪談」から創作舞台「青柳」公演



午前10:00~ (入場無料・定員450人)

研究発表と討論

「熊本・富山発 新発見による小泉八雲新考」

マリ・クリスティエヌ、千田篤、西川盛雄、西横偉、井上智重

昼の部 午後1:00~

入場券 6000円 全席自由席

平川祐弘 講演 「八雲と漱石そのライバル関係」

創作舞台「青柳」公演

夜の部 午後6:00~

入場券 6000円 全席自由席

平川祐弘 講演 「八雲と漱石 二人の『怪談』の関係」

創作舞台「青柳」公演

作 平川祐弘

◆演出 大江捷也

◆演出補 堀田清

◆出演

観世流能楽師 菊本澄代

日本舞踊家 高濱流光華々

熊本演劇人協議会の皆さん



観世流能楽師 菊本澄代



日本舞踊家 高濱流光華々

主催/創作劇「青柳」東京公演実行委員会

共催/新宿区・熊本日日新聞社・財団法人熊本公徳会・熊本県文化協会

ハリウッドビューティ専門学校・熊本アイルランド協会

助成/公益信託 くまもと21ファンド・財団法人熊本公徳会

熊本放送文化振興財団・熊日文化スポーツ基金

後援/熊本県・アイルランド大使館・東京熊本県人会・NHK熊本放送局

RKK・TKU・KKTKAB・FMK・FM791・熊本近代文学館友の会

小泉八雲熊本旧居保存会・熊本八雲会・熊大五高記念館友の会

熊大小泉八雲研究会・ジェーンズの会・くまもと漱石倶楽部

協力/熊本スピリッツ発信協議会

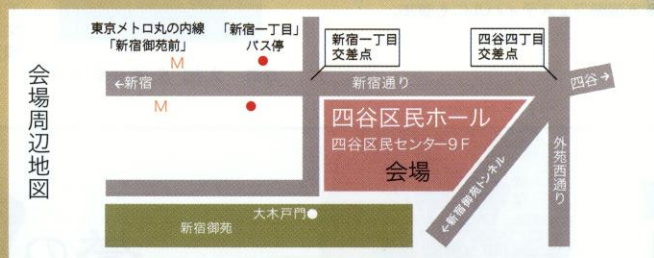
チケットの申し込み・お問い合わせ

創作劇「青柳」東京公演実行委員会

TEL. 096-366-5151 FAX.096-372-1857

<http://www.kumamoto-ireland.org>

第53回熊本県芸術文化祭奨励賞受賞



日時：2012年8月5日

会場：東京都新宿区 四谷区民ホール

東京都新宿区内藤町87 TEL.03(3351)2118

くまもとの「能」「日舞」「演劇」をハーン終焉の地、新宿に

小泉八雲「怪談」から創作舞台「青柳」公演

あらすじ

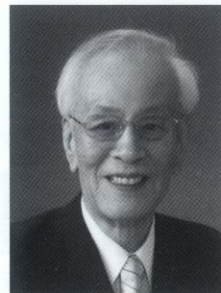
熊本の五高教師として赴任してきた小泉八雲ことヘルンは、学生らを伴い、若葉の美しい季節、水前寺成趣園にやってくる。そこで学生岩木三四郎に出会う。茶屋の娘が桜の木の下で妖しく舞う姿に三四郎は魂を奪われる。実は三四郎は友忠という若侍の化身。二場は能の舞台。細川公の縁者の大名に仕える身で、主君の命で細川公のもとに急ぐ途中、吹雪に遭い、一軒家にたどり着く。そこには老夫婦と年若き娘、青柳がいて、友忠と青柳は惹かれあう。青柳を伴い、細川公の許しも得て、二人が仕合せな日々を過ごす、ある日、青柳が「いま、私は死にます」と叫び、死に絶える。三場は、花岡山の麓。三四郎が出征することになり、八雲も駅で見送るため、同行する。途中、三本の切り株がある。二本の柳の老樹と一本の若い柳の切り株であった。友忠の妻となった青柳は実は木の霊であった。三四郎は念仏を唱え、八雲も合掌する。「怪談」の中から「青柳の話」「十六桜」「乳母桜」に「大和物語」の葉守の神の歌、ミュッセの墓碑銘の詩なども題材にしている。



「夢幻能青柳」作

平川祐弘 (ひらかわ・すけひろ)

1931年東京生。東大教養学科卒。比較文学比較文化。東大名誉教授。著書、『和魂洋才の系譜』(平凡社、博士論文)、『ラフカディオ・ハーン——植民地化・キリスト教化・文明開化』(ミネルヴァ書房、和辻賞)、『米国大統領への手紙、市丸利之助伝』(出門堂)、『天八自ラ助クルモノヲ助ク——中村正直と『西国立志編』』(名大出版会)、『アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳者』(白水社)、『ダンテ『神曲』講義』(河出書房)、『書物の声 歴史の声』(『熊本日日新聞』連載、弦書房) Japan's Love-Hate Relationship with the West(Global Oriental), Lafcadio Hearn in International Perspectives(Global Oriental).



演出 大江捷也 (おおえ・かつや)

熊本県文化協会常任顧問 熊本市文化事業協会会長
くまもと全国邦楽コンクール実行委員会会長
元気だ!熊本観光事業実行委員会会長など。
能楽・日本舞踊・演劇・ミュージカル・朗読劇などの脚本執筆や熊本県立劇場・熊本市市民会館の舞台作品の制作統括を多数手掛ける。演出は今回が初めて。平川先生の深く幅広い学術論考と小泉八雲への愛情に裏付けられた脚本をどのように表現できるか、多くの仲間と応援団とのジャンルを超えた実験的協同作業です。



観世流能楽師 菊本清譲会、みずのあお主宰
公益社団法人能楽協会会員
観世流能楽師菊本清吉の長女
観世流大西家当主大西智久(重要無形文化財総合指定保持者)のもとで内弟子修行、独立「石橋」、「猩々乱」披く
《活動》
大阪能楽会館、福岡市大濠能楽堂の定期会等に出演。熊本市練兵町・山鹿市・本渡市・NHK講座・RKK学苑などに教室を持つ。熊本県教育委員会の依頼を受け、小中学校において能楽ワークショップ実施(平成15年度~平成17年度)・熊本市の依頼を受け、市立小中学校においても実施中(平成16年度~)他



日本舞踊家 高濱流高濱会代表
社団法人日本舞踊協会会員
熊本県日本舞踊協会副理事長
熊本県文化協会世話人

高濱流の特徴である江戸前の素踊を始め、粋な芸者や歌舞伎舞踊まで、幅広い芸域をみせる。ドラマ法王歓迎の祝舞、秋篠宮殿下御来臨の折の祝舞等にも出演。
2004年には第39回熊本権文化懇話会新人賞を受賞。

日本舞踊家 高濱流光華々



劇団石代表、熊本演劇人協議会会長
1950年生まれ、益城町在住。

1970年、NHK放送劇団解散後、舞台公演を目指す劇団石を設立。笑いをテーマにモリエールのフランス古典喜劇(ファルス)を中心に活動開始。現在は、優しさや思いやりをテーマにした作品を中心に舞台活動を展開中。代表作は「ダニエル・キイスの『アルジャーノンに花束を』」地域演劇の連携の必要性を感じ、熊本演劇人協議会主催の熊本演劇フェスティバルにも参加。



幼少より長唄三味線と舞踊の手ほどきを受ける。14歳にて今藤珠美の芸名を許される。昭和59年大和楽に入門し大和久子の芸名を許される。
平成12年5月、藤舎名生作品集『一奏2』(日本コロムビア)録音に参加。一奏たまの芸名で演奏する。「くまもとの唄」や舞踊曲・創作邦楽「くまもと四季曆」などの作曲活動により、平成8年度熊本県文化懇話会新人賞、平成10年度熊本県民文化賞受賞。現在、熊本と東京、ソウルを中心として、舞踊の地方や放送出演、リサイタル、講座などの活動を行っている。平成18年より韓国ソウルの日本大使館公報文化院にて三味線講座を開講中。今年6月には韓国国立国楽院において長唄演奏会を開催した。

作曲 大和 久子(今藤 珠美)

熊本演劇人協議会 堀田 清

全国配送も承ります

通信販売受注センター

0120-37-5081

受付時間9時~17時(年末年始・日曜日休み)
FAX.096-279-4506 受付時間24時間



オンラインショップ
QRコード

<http://5081.jp>



熊本の代表銘菓
阿蘇の水に磨かれて
大納言あずきの風味
凛々しく。
くつろぎのごちそう

【白山本店】熊本市中央区白山1-6-31 TEL.096-371-5081 <http://www.kobai.jp>

お菓子の香梅